

令和 5（2023）年度

第 1 回 2 科・4 科型入試 2 月 1 日

筆記試験問題

【国語】

<注意>

- ◆ 解答時間は 45 分である。
- ◆ 開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- ◆ 問題は表紙をのぞいて 7 ページある。落丁・乱丁があった場合は速やかに手をあげて監督者に知らせること。
- ◆ 解答は全て解答用紙に記入すること。
- ◆ この冊子の余白はメモなどに自由に使用してよい。

桜丘中学校

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

人間が関わった望ましくない予期せぬ結果

一方で、初めは何気ないミスや些細な不注意といった小さな¹失敗だったのに、その失敗が新たな失敗を呼び、またその失敗が原因で次の失敗を起こし、やがて、ニュースになるほどの死亡事故や大惨事を招くケースもあります。

^Aセケンを騒がせるような大災害も、もとをたどればケアレスマスのように取るに足らない小さな失敗が原因だったという話も少なくありません。前の章で紹介した「福島第一原発事故では、非常用ディーゼル発電機が発電所の地下一階にあったため、津波による浸水で動かなくなり、被害をより甚大なものにしてしまった」という話も、²その一例と言えるでしょう。

大災害の中には、人間が直接関わるような「事故」ではなく、地震や津波、火山の噴火、台風などの自然現象によって引き起こされるものもたくさんあります。これらの自然災害は、人間の力では防ぎようもないほどの規模と破壊力を持っていますので、「望ましくない、予期せぬ結果」になったからといって「失敗」とは言えません。

ただし、受けた被害の根本的な原因に人間が関わっていなかった場合でも、中には「失敗」と呼ぶべき類のものがあります。

ニュースなどで耳にしたことがあると思いますが、自然災害によって大きなダメージをもたらされたケースで「^X」と呼ばれることがあります。例えば、大雨が降って堤防が決壊し、多くの人家が流されてしまったとき、その堤防の設計に失敗があつて決壊したのであれば、それは設計者のミス（失敗）が原因で決壊したと考えられるので「^X」とされます。^I耐震設計が正しければ倒れるはずのない震度の地震で建築物が倒壊すれば、それもまた設計者あるいは建築業者の何らかの失敗が疑われるので、これも「^X」と言えます。自然災害に対して、人間の作ったものが本来の役に立たなかった場合は、やはり「失敗」と考えるべきです。

以上のように、ある程度は例外的なものもありますが、基本的には「人間が関わっていること」と「望ましくない、予期せぬ結果」という二点をポイントとして「失敗」を定義づけることにします。

このように定義づけられた「失敗」について、真つ直ぐに対峙して、科学的なアプローチで研究・分析することで、上手に付き合っていく方法を学び身につけることが「失敗学」の重要な課題となります。

しかし、残念ながら「失敗」というのは、とかく「隠されがち」なものです。大半の人は自分の失敗からなんとかして目を背けようとし、どんなに些細な失敗ですら、できるかぎり避けようとし、す。

私は、この「失敗」を過度に避けようとする傾向が問題だと思っています。

【二】子どもたちに「ナイフの使い方」を教える授業がなくなった例で考えてみましょう。

失敗のチャンスを取りあげられた子どもたち

私が子どもだった時代、竹や木で細工した玩具を作るため、ナイフは必需品でした。ほとんどの子どもたちが、ナイフを上手に使っていました。【三】、いつの間にか「ナイフを使って、指など切って怪我

したらたいへんだから」と、だんだんナイフを使った授業は減っていき、現在は家でも学校でも、子どもたちがナイフを使う機会がほとんどなくなってしまいました。

結果、子どもたちがナイフで手を切る事故もなくなり、一見、安全な生活が^Bホシヨウされたようにみえます。

【ア】そして、ナイフで手を切ったことのない子どもは、その痛みも、傷が後からどうなるかも知らないので、実際にナイフがどれほど危険なものなのか、知らないまま成長してしまいます。【イ】すると、いざナイフを使わなければならないとき、ちゃんと使いこなせないばかりか、失敗して大きな怪我を負うことになるかもしれません。【ウ】ナイフで切った痛みを知らないことで、他人をナイフで切ったり刺したりしたときの痛みも、^Cソウソウでなければ、痛みを知っている人よりは、安易にナイフを他人に向けることにもつながりかねません。

【エ】つまり、子どもの頃にナイフに触れる機会を失ったことで、後に大きな失敗を起こす可能性が高まるのです。

【オ】小さな失敗が起こるリスクを徹底的に排除し続けることは、将来に起こりうる大きな失敗の可能性を高めてしまうことになるのです。

現在主流となっている「これは成功、それは失敗」「こっちはオーケー、あつちがダメ」という⁴○×式の教育方法では、表面的な知識しか学べません。そこに欠落している「真の理解」がないままだと、決して応用力を身につけることはできません。ムダを省いた合理的な教育や勉強法は、効率的な学習を実現しやすいですが、それはあくまでも暗記を中心とした表面的知識の蓄積であつて、体験的知識に基づいた「自分で考える力」の養成には役立たないのです。そのような現代の教育方法の弱点についても、きちんと考えなければなりません。

あえて必要と思われる失敗を体験させることで、子どもたちは自分自身でその失敗から体験的知識を学び、判断力や応用力を獲得するのです。

そう考えると、やはり実感を伴った体験学習が重要になります。失敗を恐れない気持ちや育み、失敗体験を積極的に活用する教育が今こそ必要なのです。せめて他人の失敗経験を伝えるだけでも意義があります。

しかし、現実とは逆でした。

（畑村洋太郎『やらかした時にどうするか』より）

問一 二重傍線部A「セケン」、B「ホシヨウ」、C「ソウソウ」を漢字に直しなさい。

問二 本文中の空欄【一】【三】にあてはまる語として最も適切なものをそれぞれ選び、次の中から記号で答えなさい。（同じ記号を二度以上使ってはいけない）

ア ところか イ また ウ なぜなら エ たとえば オ つまり

問三 本文中の空欄【X】にあてはまる語として最も適切なものを選び、次の中から記号で答えなさい。

ア 息災 イ 厄災 ウ 人災 エ 天災 オ 防災

問四 本文中からは次の文が脱落している。補うのに最も適切な位置を文中の「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」の中から選び、記号で答えなさい。

【脱落文】しかし、裏を返せば、今の子どもたちには「ナイフで手を切るといふ小さな失敗を経験する機会」がなくなってしまうのです。

問五 傍線部1「失敗」とあるが、筆者のいう「失敗」とはどういうものか。その説明として最も適切なものを次の中から記号で答えなさい。

- ア 人間が関係した上で考えもしなかった意外な結果を得ること。
- イ 人間の働きによって意図していなかった不都合な結果を得ること。
- ウ 人間が原因となって、人間の力では防ぎようのない悲惨な結果を得ること。
- エ 事故、惨事、災害など形態に関係なく、人間にとって不利な結果を得ること。
- オ 原因に人間が関係するかどうかに関わらず、予期しない不都合な結果を得ること。

問六 傍線部2「その一例」が表している内容を二十字以内で説明しなさい。

問七 傍線部3「『失敗』を過度に避けようとする傾向が問題」とあるが、筆者が問題視する理由の説明として最も適切なものを次の中から記号で答えなさい。

- ア 失敗が許されなくなると、失敗そのものを隠してなかったことになってしまうようになるから。
- イ 失敗を経験しないことによって、科学的に分析するという姿勢を身につけられなくなるから。
- ウ ナイフで手を切る経験をしないうことで、ナイフの危険性を理解できない人になってしまうから。
- エ 小さな失敗を重ねて学びを得ることができなくなり、大きな失敗を起こす危険性が高まるから。
- オ 失敗をしてはいけないものと考えようになり、成功だけを求めるようになってしまうから。

3

問八 傍線部4「○×式の教育方法」の説明として適切なものを二つ選びなさい。

- ア 学ぶ上での効率がよい。
- イ 実感を得た上で理解ができる。
- ウ 昔から続く伝統的な教育である。
- エ 危険性を徹底的に排除している。
- オ 応用力や判断力が身につけられない。

問九 本文で述べられている筆者の主張に合致するものには○を、そうでないものには×をそれぞれの解答欄に答えなさい。ただし、すべて同じ記号で答えた場合は採点の対象としない。

- ア 失敗を恐れずに体験を重ねることが必要だ。
- イ 失敗を通して自分で考える力を養うべきだ。
- ウ 自分が体験しないことには学ぶことはできない。
- エ 失敗を通して感覚的に知識を得ることが必要だ。
- オ 失敗は学びのきっかけにも、大惨事のきっかけにもなり得る。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

葡萄色のレオタードとタイツ、それからオーディションのエントリーシートをレッスンバッグに入れた。迷ったけど、ぎりぎりのところでわたしは「オーディションを選んだ」。どちらかに決めてさえしまえば、もう気持ちはゆれぬ。捨てたことを未練たらしくいつまでも考えるようなムダなこととはしたくないし、わたしはそういう人間じゃない。そう思っていた。

なのになぜだろう。胸の奥が落ち着かない。

バッグに入れたエントリーシートを取り出して、もう一度机の上に置いた。

わたしの夢はプロのバレエダンサーになることだ。ただの憧れなんかじゃない。

まへの教室では、家族で出かけるからとか、友だちの誕生日パーティーがあるからと、レッスンを休む子もいた。でもわたしは一度も、そんな理由で休んだことはない。足をケガしたときも、教室へ通った。レオタードを着て鏡に自分を映す。からだのライン、姿勢をチェックして、上半身や指の動きを確認する。レッスンはできなくても、できることもすべきこともいくらでもある。

食べることや着るものも同じことだ。バレエを中心に考えれば、自分がすべきことはかたんに答えが出る。

バレエはわたしを強くしてくれる。わたしをわたしらしく生きさせてくれる。わたしにとって、信じられるただ一つのものだった。ずっとずっと。

いつからだろう。友だちの存在がわたしのなかでほんの少しふくらんで、ママになにかを期待して、やってみたいことがぼつぼつと目の前にちらついて。

大切なものが増えたぶん、わたしは弱くなった。

ふっとXをについて、バッグのなかのエントリーシートを確認し、ゴムで髪を結び直して部屋を出た。

「良子ちゃん、ちよつといい？」

レッスンは終わったあと、麻里子先生に呼び止められた。

「オーディションの申し込みなら」

「うん、周子先生からさっき預かったよ」

はい、とうなずくと、麻里子先生は「座らない？」と、スタジオの隅に腰をおろした。片膝を立てて、もう片方の足は足先を反対側の足の腿裏につける。背筋はピンと伸びたままだ。

麻里子先生は座り姿もきれいだ。わたしは両膝を立ててその足に両手をまわした。

つぎの時間は大人のレッスンで、a教人がスタジオのなかを走ったり、エア縄跳びをしてウォーミングアップをはじめている。そうしてからだを温めてから、ストレッチをするのがレッスンまへの流れだ。

「修学旅行、行かなくていいの？」

「えっ？」

わたしが小さく声を漏らすと、麻里子先生はYじりをさげた。

4

「重なってるんだって？ 修学旅行」

まあ、とことばを濁らせた。

「でもめずらしいね、良子ちゃんが迷うって。ああ、誤解しないでね、わたしは迷って当然だと思うよ。そういうことじゃなくて。うん、良子ちゃんがどっちを選ぶか、悩めるようになったことって、わたしは ⁴ すごいことだと思ってるの」

「すごい、ですか」

うん、すごい。と麻里子先生は顔をくしゃつとさせた。

「迷ったり悩んだりできるって、それだけ良子ちゃんにとって大切なものがあるってことだからね」

「でも」

ん？ と首をかしげる麻里子先生に、いいえとかぶりをふった。

でも、大切なものをすべて手に入れるなんて都合のいいことは、できっこない。あれもこれも手を伸ばしたら、**b** 一番大切なものを失う。だから、一番大切なものを手放したくなかったら、欲張ってはいけない。

あれもこれも手に入れることができるのは、本当の天才と、一番をもっていない ^c キョウウな人だけ。

わたしは凡人だから。一番があるから。だからほかのことは望んじやいけない。

……わかっていたはずなのに、どうしてあんなに迷ったんだろう。

「野球ばか」

へっ？ と顔をあげた。

「野球ばかとかサッカーばかっていうじゃない？ あれってどんな意味か知ってるよね」

「野球とか、サッカーに熱中しているとか、打ちこんでいる人のことですよ」

麻里子先生は、そうそうとうなずいて、もう一つ、と人さし指を立てた。

「それしか知らない、その世界しか知らないっていう意味で使われる場合もあるの。ばかっていうのはいい過ぎだと思うけど、ある意味あたってるよね。たとえば、子どもがすごく野球うまかったとするでしょ。そうすると、親も周りも期待するじゃない。 ^d スエはプロ野球選手か大リーガーかなんてね」と、**Y** じりをさげた。

「そうなる勉強ができなくても、自己中心的で周りが引いていても、この子には野球があるから、特別なものがあるから、って放置しちゃう。野球だけやっていればいいんだ、みたいにね」

麻里子先生は、**c** 真顔にもどった。

「良子ちゃんには、そうなってもらいたくないな。べつに、スティックに一つのこと極めていくことを否定しているわけじゃないのよ。そういうことが必要な時期もあると思う。けど、良子ちゃんは小学生だよ。いまから捨てるクセをつけちゃダメ」

そういつて麻里子先生は、ムダのない動きで立ちあがった。

「……修学旅行に行ったほうがいいっていいことですか？」

わたしがいうと、麻里子先生はにこっとした。

d あがいてみたら？ ってこと」

エントリーはちゃんとしておくから、と麻里子先生はスタジオをあとにした。

あがく。 ⁵ あがくつてなにを、どうやって……。

(いとうみく『ちいさな宇宙の扉のまえで 続・糸子の体重計』「チヨイス・町田良子」より)

問一 二重傍線部 A「映(す)」、B「預(かつ)」、C「キョウ」、D「スエ」について、それぞれ漢字のものは読みを書き、カタカナのものは漢字に直しなさい。

問二 空欄 **a** **d** に入る語として適切なものを次の中からそれぞれ記号で答えなさい。(同じ記号を二度以上使ってはいけない)

ア すつと イ もつと ウ きつと エ じつと オ もう

問三 空欄 **X**、**Y** に入る語として適切なものを次の中からそれぞれ記号で答えなさい。

ア 手 イ 腰 ウ 目 エ 耳 オ 息

問四 傍線部 1「オーディションを選んだ」とあるが、その選択を決定づけたのはどのような考えか。

その説明として最も適切なものを次の中から記号で答えなさい。

ア バレエに取り組んできた今までの自分を裏切りたくないという考え。

イ いままでバレエを中心に考えればうまくいったという考え。

ウ バレエは自分が信じられる唯一のもので、迷うまでもないという考え。

エ 他のことも欲張ると一番大切なバレエが物にならないという考え。

オ バレエの先生がかけてくれた期待を裏切りたくないという考え。

問五 傍線部 2「胸の奥が落ち着かない」とあるが、なぜか。その説明として最も適切なものを次の中から記号で答えなさい。

ア バレエ以外にも大切なものが増えて、それらを切り捨てることに抵抗を覚えるから。

イ 一度決めたことをいつまでも考えるような人間ではないのに、迷いが消えないから。

ウ バレエを優先する選択をしたが、選ばなかった友人に対して申し訳なさを感じるから。

エ バレエを選択したが、オーディションに合格できるという自信を持てず不安を感じるから。

オ 自分の下した選択が正しいと考えられず、オーディションに参加することを後悔し始めたから。

問六 傍線部 3「良子ちゃん、ちょっといい？」とあるが、なぜ先生は呼び止めたのか。その説明として適切なものを二つを次の中から記号で答えなさい。

ア オーディションの申込書を提出したかという確認をするため。

イ バレエと修学旅行のどちらを選択するかについて決心させるため。

ウ バレエか修学旅行かという選択に迷うことは肯定するべきと伝えるため。

エ 一つのことだけに限らず、様々なことに挑戦した方がよいことを伝えるため。

オ 自分のやりたいことに打ち込むことは素晴らしいということを伝えるため。

問七 傍線部4「すてきなことだと思ってるの」とあるが、その理由について次の空欄を十五字以内のことばを補うことで説明しなさい。
選択に迷うことは良子が ということだから。

問八 傍線部5「あがくつてなにを、どうやって……」とあるが、この話から想定されるあがきの内容は何か。最も適切なものを次の中から記号で答えなさい。
ア バレエを選んだことへの迷いがなくなるまで、自問自答を繰り返して行うこと。
イ バレエのオーディションに参加し、残りの日程で修学旅行にも参加すること。
ウ 申し込んだオーディションの参加を今からでも取り下げて、修学旅行に参加すること。
エ もっとバレエに打ち込んで、修学旅行への未練をなくしてしまうこと。
オ 一度バレエの世界から離れて、違う世界を見て自分を大きく成長させること。

問九 本文中に使われている表現について正しく説明したもの、二つを次の中から記号で答えなさい。
ア 「やってみたいことがぼつぼつと目の前にちらついて」の「ぼつぼつ」は擬声語、または擬音語という。

イ 「ことばを濁らせた」という表現は「声を小さくすること」という意味である。
ウ 「かぶりをふった」という表現は、否定の意志を表すものである。
エ 「その世界しか知らない」ということは「井の中の蛙大海を知らず」という故事成語で表せる。
オ 「ムダのない」の「ない」は「少ない」の「ない」と文法的に同じである。

受験番号

氏 名

総合得点

合計

二	合計
---	----

[illegible]